

育



む

御幸中学校
2年学年だより
令和8年8月24日（月）
第8号

平和集会がありました。

修学旅行で実際に広島を訪れた3年生から、原爆について、平和についての集会がありました。今ある生活に感謝し、多くの人の命を奪う戦争を二度と起こさないために、私たちができることを考えましょう。感想を紹介します。

◎ 戦争ではたくさんの人が亡くなりたくさんの人が悲しんでいることが分かったので、私は、まず身近な行動や言葉を大切にしておきたいと思いました。例えば、けんかをするのを少なくしたり、悪口や影口を言わないようにすることです。そうすることで、悲しむ人がなくなったり、戦争にならないようになると思ったからです。来年、広島へ行くので、その時には戦争についてしっかり学ぼうと思いました。



◎ 3年生の話を聞いて思ったことは、やっぱり戦争はだめだなということです。戦争をなくすには、話し合いが一番良いと思います。僕がケンカしたときは、話し合いで解決するので話し合いが良いと思いました。戦争もケンカも規模が違っただけで話し合う時間があれば少しはよくなると思います。これからケンカした時は話し合っで謝ります。

◎ 3年生の話を聞いて、まずは身の回りのことからやっていきたいと思いました。3年生が言っていたように、友達とけんかしないとか相手の気持ちを考えるということを考えながら生活していきたいし、絶対に戦争をしたらだめ、戦争はおかしいことだと思えることができたこの気持ちを忘れないでおこうと思いました。戦争は絶対あってはいけないことだから、戦争・原爆にあった人達の思いや願いを忘れず、来年は私達がこの思いを伝えていこうと思いました。

◎ 平和集会で発表した人や司会をしていた人の言葉を聞いて、「原爆ってものすごい範囲まで被害を受けたんだな」と思いました。また広島の人にはたくさん被爆者のために行動しているのに自分たちは考えもしないのはおかしいと思いました。自分たちも来年修学旅行で広島に行くと思うので、そこで被害にあった人や被爆者、身近な人がなくなり悲しい気持ちになった人のことをもっと考えて理解できるようにしたいです。

◎ 今日の発表を聞いて、戦争についてより深く学ぶことができました。学校に行きたくないときとかあるけど行くことができていることが幸せで平和なんだと思いました。これからは一つ一つの幸せを大切にしていきたいです。

◎ 佐々木さんが生きていたいと思い、折り鶴を 1300 個以上折っていたことが分かりました。私たちと同じ中学生だった子やそれよりももっと幼い子供が亡くなっていて、戦争の恐ろしさがよく知れました。私は誰かがするのを待つのではなく自分から平和につながることをしたいです。

◎ 今日の平和集会で、戦争の愚かさが分かりました。今日の日本は平和ですがあの時の広島にいたら、何で戦争をするのかと考えます。これからは戦争をしないために、けんかやいじめなどの小さい火種をなくしていきたいと思いました。修学旅行までの1年間平和についてよく考えようと思います。3年生になり、次は自分たちが平和について教えるときは、2年生にしっかりと教えたいです。

◎ 発表を聞いてもっと広島に行きたくなっし、もっと原爆の日を大切にしたいなと思いました。そして本田爽陽さんの最後の言葉がすごく心に残っています。司会者も大きな声でハキハキ話していたし、聞き取りやすい声で良いなと思いました。

◎ 私は、平和集会で原爆の恐ろしさについて知りました。3年生が原爆を受けた人の話を聞いたという話を聞いてとても残酷だと思いました。原爆でたくさんの尊い命がなくなったということを知り、3年生が言っていた、生きていることは当たり前ではなく、戦争を決して行っはならないという言葉の重みを感じました。3年生になったら、私たちも広島に行き原爆について学ぶと思うので、今日知ったことを忘れず学んだことを次の2年生や1年生に伝えていきたいです。

